

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010101021300		事業の種類	4		
年度	24	事務事業名	出産祝金支給事業		予算事業名	出産祝金支給事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部子育て支援室			
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	友上 啓子		担当者名	坪田 知己
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市出産祝金支給要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	出生時に本市に住所があり、出生児と同居かつ監護している者						
	誰(何)を対象として	出生時に本市に住所があり、出生児と同居かつ監護している者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	出産のお祝いと費用の軽減を図る						
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		出産祝金5万円を支給する。					
活動実績	項目	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度計画	
	支給件数	件		223	209	250	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		22年度決算	23年度決算	前年比	24年度決算	前年比	25年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.024	100	0.022	92	
	参事以下職員		0.088	-	0.088	100	0.038	43	
	臨時職員		0.150	-	0.150	100	0.050	33	
支出内訳	人件費		1,362,194	-	1,347,098	99	699,524	52	
	事業費		11,156,000	-	10,453,000	94	12,503,000	120	
	合計		12,518,194	-	11,800,098	94	13,202,524	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		12,518,194	-	11,800,098	94	13,202,524	112	
合計		12,518,194	-	11,800,098	94	13,202,524	112		

## ※ 事業の進捗状況

項目		22年度	23年度	24年度	25年度	備考
全体進捗率	事業費累計					/
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給件数							
指標説明(式)		支給件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
件	目標		250	-	250	100.0	250	100.0	
	実績		223	-	209	93.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

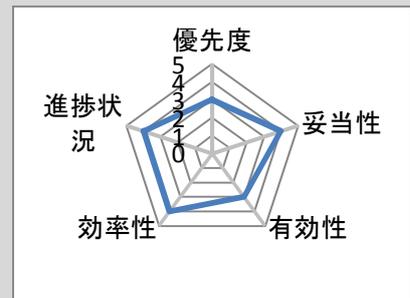
指標名1		支給1件当たりの事務費							
指標説明(式)		人件費/支給件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	5,545	-	2,798	50.5	
	実績		6,108	-	6,445	105.5			
指標名2		現金支給割合							
指標説明(式)		現金支給件数/支給件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
%	目標		80	-	80	100.0	80	100.0	
	実績		81.2	-	78	96.1			

5 事業の評価(24年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	出産のお祝いと出産に係る費用負担に配慮するものであり、子育てしやすい環境を整える目的に即している。	4
有効性	上位施策への貢献度	若年人口の増加と定住を促進し、子どもを産み育てやすい環境を整えることにより、地域活力の向上を図るため必要である。	3
	市民サービス	出産できる産婦人科がない当市にとって、出産に対する費用の支給は、他市との比較においても有効である。	
効率性	手段の最適性	出生届提出時に現金で支給することにより、出生を祝う目的に即している。	4
	執行体制の効率性	子育て支援室が担当することで、出生時の他の子育て施策の申請等の把握・調整ができ、効率的な執行体制である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	支給対象者にはすべて支給しており、計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	活性化事業として実施しているが、出生数の増加に繋がっていない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた25年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	関係各課と連携しながら、制度のPR、周知に努める。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 26年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	関係各課と連携しながら、制度のPR、周知に努める。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持